

令和6年7月30日

長与町議会議長 安藤 克彦

研修報告書

長与町議会議員研修要綱第7条第2項の規定により、次のとおり公表します。

1. 研修名（主催者） 令和6年度市町村議会議員研修[3日間コース]
「新人議員のための地方自治の基本」
全国市町村国際文化研修所(JIAM)
2. 研修日時 令和6年5月8日～10日（3日間）
3. 研修場所 全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）
4. 研修目的 議員の資質向上および議会の活性化に資するため
5. 研修参加者 岡田 義晴 議員
6. 所見（成果）

5月8日	開校式・開講オリエンテーション 地方自治制度の基本 同志社大学政策学部 大学院総合政策科学研究科 教授 野田 遊 氏 地方議会制度について 全国市議会議長会企画議事部 篠田 光洋 氏
5月9日	地方議会と自治体財政 静岡県立大学経営情報学部 教授 小西 敦 氏 地方議会と政策～条例検討を中心に（意見交換を含む） 新潟大学 副学長・経済科学部教授 穴戸 邦久 氏
5月10日	これからの地方議員に期待されていること 近畿大学法学部 教授 辻 陽 氏

本研修会は、3日間にわたり地方自治の基本、地方議会制度、地方議会と自治体財政、地方議会と政策そして演習など、真に新人議員のための基本を学ぶ構成となっていた。1日目の3-4時限目の講義は、「地方自治制度の基本について」と題して、同志社大学大学院総合政策科学研究科教授の野田遊先生より、地方自治の成り立ちから現在の問題点までを懇切

丁寧にご説明いただく内容であった。中でも財政や広域連携、自治体組織、広報のお話は、我が町にも直結する内容であり、大いに示唆を頂くものであった。5 時限目の講義は、「地方議会制度について」と題して、全国市議会議長会企画議事部の篠田光洋先生により、「議員のあり方」から「地方議会の権限」や「地方議会に関する法体系」に及ぶ多岐にわたる内容であった。この講義での特筆すべき内容とすれば、議員の発言と法的責任についての言及である。昨今、開かれた議会を標榜する社会の流れの中で議員の言動はこれまで以上に責任を持たなければならないと自戒を含め強く感じた。

2 日目の1-2時限目の講義は、「地方議会と自治体財政」と題して、静岡県立大学経営情報学部教授の小西敦先生により5つの項目（1 議会と財政、2 予算と地方財政制度、3 地方財政の分析、4 質問者への応答、5 まとめ）を一つ一つ説明を頂く内容であった。特に事前に我々参加者からの質問に分かりやすくご回答、ご解説いただき、大いに参考になった。2日目の3時限目の講義は「地方議会と政策～条例検討を中心に～」と題して新潟大学副学長・経済科学部教授の穴戸邦久先生により「法令の体系と一般原則」と「法令の解釈」などの説明を頂く内容であった。全体にわたって難解な内容ではあったが、一つ一つを噛んで砕いて説明していただく穴戸先生の情熱あふれるご指導に一同大変感銘を受けた講義であった。4-5時限目は演習の時間であった。まず穴戸先生より演習の説明を受けて、実際に市町村で施行されている3つの条例（弥彦村議会基本条例、大津市がん対策推進条例、宮崎市深夜における花火の規制に関する条例）を27班（班員6人）に分かれて、検討、討議を行い、討議結果の発表・質疑を通して、条例審査や条例立案に当たっての視点や考え方等に対する理解を深めることができた。

3日目最終日の1-2限目の講義は「これからの地方議員に期待されていること」と題して近畿大学法学部教授の辻陽先生により「大統領制比較から見た二元代表制」や「質疑及び質問の意義」や「議員の位置づけと議員報酬」「地方議会の今後の課題」など我々にとって大いに興味関心を引く内容であった。この講義での特筆すべきは、首長と議会の関係性とそれぞれの権限を改めて学ぶことができたことと議員のなり手不足の原因を浮き彫りにした点であった。

この3日間（講義・演習合計650分）の学びは大変特別なものであった。受講者160人は、北は北海道、南は鹿児島から集まった市町村議会議員であり、普段の生活においてまず会うことのない人たちである。1日目の交流会の時に名刺交換をしてお互いの出身地を確認し合い、運命の出会いに喜び合う風景は感動的であった。穴戸先生が、なぜわざわざここ（滋賀県研修所）に来るのかわかりますか？の問いかけが更に感動的であった。それはオンラインではできない、実際に顔と顔を見て交流し、ネットワークを作ることができるからです。各地から来た「仲間たち」がその地域で議員としての活動を全国の仲間たちと共有し始めることは、これから何か素晴らしい「化学変化？」が起きるのではないかと？地方議員の一人一人の力は小さいかもしれないが、この全国のネットワークの広がりによって地方議会、地方政治が変わっていくのではないかと？そんな思いが湧いてきた。事実、私も今回の研修で多くの全国の仲間と会うことができた。今回の研修会と、このネットワークができたことを成果として、自身の資質の向上、そして今後の議会活動の活性化に生かしていきたい。